

## 令和元年度（第1回）二宮町文化財保護委員会 会議録

日 時 令和元年7月5日（金） 13:30～15:00

場 所 ラディアソ ミーティングルーム2

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、  
鈴木一男委員、露木泰彦委員

（事務局） 森教育長、黒石教育部長、  
小島生涯学習課長、小嶋生涯学習・スポーツ班長  
須賀副主幹、中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 （1）令和元年度文化財保護関係事業及び予算について  
（2）諏訪脇横穴墓群について

### 1、開会

### 2、教育長挨拶

### 3、委員長挨拶

### 4、議題

（1）令和元年度文化財保護関係事業及び予算について

※事務局より資料に基づいて説明。

（委 員）今年度はラディアソでミニ展示を行うということですが、興味を示す人が多いのではないですか。

（事務局）おかげさまで多くの方が足を止めてくださり、先日は日本画を勉強している方がデッサンをしていました。

（委 員）なかなか目にすることがないものですから、良い企画ですね。

（委 員）現在展示している土器は、普段はどこに収蔵しているのですか。

（事務局）主にふるさとの家と二宮中学校の倉庫です。

（委 員）それはどのように整理されているのですか。

（事務局）コンテナに入っているものもありますし、発泡スチロールの箱には入っているものもあります。コンテナを置ける場所もだんだん少なくなってきています。

（委 員）同じ大きさのコンテナを買えば積み上げられるので、収蔵しやすいです。きちんと管理するためにも頑丈なコンテナは必要です。

（委 員）遺物はどんどん増えていくので、できれば1か所にまとめておける場所の確保もお願いします。

（委 員）あと、常設の展示場所はぜひほしいものです。

（委 員）それがあれば、二宮は大昔から人が住んでいた、住みやすい場所だということを知ってもらえます。

(2) 諏訪脇横穴墓群について

※事務局より資料に基づいて説明。

- (委員) 諏訪脇横穴墓群の現状を確認に行きましたが、二宮層の貝化石がはぎ取られているところがありました。横穴墓はまだ20基ほど残っていると思うのですが、斜面にあって竹林で覆われているので外からは4～5基しか見ることはできませんでした。竹林で覆われているということはそれで横穴墓が保護されているとも言えるのですが、今後この東大果樹園跡地を活用する際には、横穴墓もどうしていくかを考えておく必要があります。
- (委員) 鉄砲田横穴墓群も一時竹林で覆われ全く外からは見えないようになっていましたが、最近竹が切り払われ、かなりの数の横穴墓が確認できるようになりました。
- (委員) その一つは棺座(かんざ)が掘り込んであるのが見えるのですが、それは見ごたえがあります。
- (委員) この表によると、横穴墓群を最初に調査してから30年以上経っていて、これまで2回現地確認が行われているようですが、たとえば最初に15基あって、次の時に15基確認できたとしても、それらは全く同じ横穴墓とは限りません。つまり風化して崩れてしまったり、逆に周りの崩壊により新たに出現した横穴墓かもしれませんから、まず基準になる横穴墓を決めて地図に落として番号をつけ、5年に一度くらい記録をし直しておくことで全体を把握できるのではないのでしょうか。
- (委員) 諏訪脇から出土した圭頭大刀(けいとうたち)は、大和政権からもらわないと手にはいらぬ品ですし、すでに消滅してしまいましたが中里横穴墓群からは鏡が出たということですから、中里の地には相当な実力者がいたということです。横穴墓は数が多いから良いというものでもなく、質にも注目し、大切にしていかなければなりません。
- (委員) 横穴墓の公開は崩落やマムシなどの危険もありますから、自由に入れるというのも問題があります。ですから大日ヶ窪横穴墓群のように前に柵を設け、外から見られるようにし、研究者だけが入れるようにするのも一つの方法です。横穴墓群についてはできれば重要性、緊急性のあるところから全体測量をして、二宮町の白地図にドットで書き込んでいくとよいです。
- (委員) 実際に横穴墓は見えているものの3倍の数はあると言われています。古屋敷などは見えている数が46ということですから、とんでもない数の横穴墓が存在すると考えられます。このような規模の横穴墓をもった集落とはどんなものであったのか、磯長国(しながのくに)の中心地域に住んでいた人々のものとも思われるので、それを実測して地図に落としておくことは大切です。
- (委員) マムシなどを避けるためには調査は1月から3月くらいの間しかできません。その上予算的なこともあるでしょうから、1年に一つか二つの横穴墓群を調査し、記録を残しておいてほしいと思います。
- (事務局) 本日は貴重なご意見ありがとうございました。コンテナの購入や遺物の置き場所については今後検討してまいります。また諏訪脇やその他の横穴墓群については、しかるべき時期に少しずつ現状確認から始めたいと思います。

5、閉会